

固定ブロードバンド品質測定手法の 確立に関するSWG ヒアリング資料

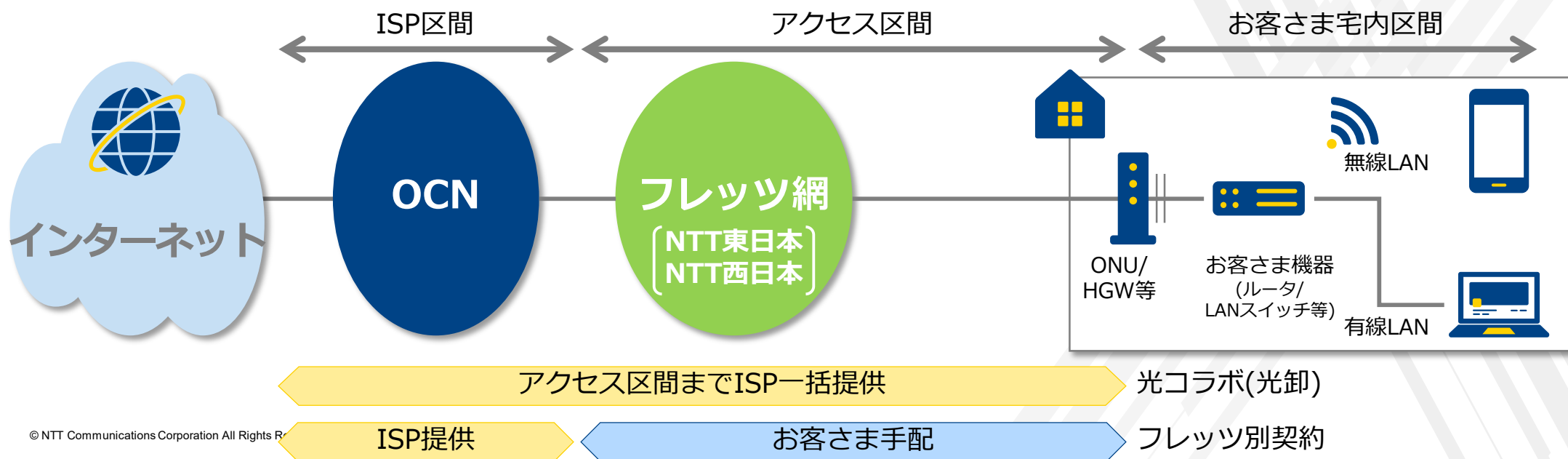
2020年12月24日

NTTコミュニケーションズ株式会社

現在提供中の固定ブロードバンド主要サービス

		個人向け OCN光	法人向け OCN光	
		PPPoE・IPoE (IPoE標準提供)	PPPoE	IPoE
提供方法		光コラボ(光卸)、フレッツ別契約(フレッツはお客さま手配) (NTT東日本・NTT西日本)		
通信速度	ファミリー	100Mbps、200Mbps、1Gbps		
	マンション	100Mbps、200Mbps、1Gbps		

【提供イメージ】



通信品質に関する広告等の表示

■ 個人向けOCN光 - Web表示 -

OCN 光なら・・・

回線もプロバイダーもすべて込み！



3,600円^{*1}~
(税抜)

インターネット接続に必要な
回線もプロバイダーもすべて揃って、
月額3,600円 (税抜) から使える！

詳しくはこちら >

大容量通信もサクサク快適！



通信量の上限もないから
スマホやPCで写真や動画を
いつでもサクサク楽しめる！

^{*1} OCN 光「マンション」で2年自動更新型割引を適用した場合の料金です。2年自動更新型割引はお申し込みが必要です。契約更新月以外に本割引または「OCN 光」を解約した場合には、11,000円 (不課税) の違約金をお支払いいただきます。また、機器レンタル代金 (最大300円) が別途かかる場合があります。料金の詳細はこちらをご確認ください。

^{*2} 通信速度について

- 通信速度が上り下り最大1Gbpsとなるのは、NTT東日本提供の「フレッツ 光ネクスト ギガスマートタイプ」対応プラン、NTT西日本提供の「フレッツ 光ネクスト スーパーハイスピードタイプ 単」対応プランとなります。NTT東日本・西日本が提供する「フレッツ 光ネクスト」ファミリー・ハイスピードタイプ/「フレッツ 光ネクスト」マンション・ハイスピードタイプ (光配線方式) の場合、NTT東日本は上り最大100Mbps下り最大200Mbps、NTT西日本は上り下りともに最大200Mbpsとなります。その他の「フレッツ光」回線の場合、上り下りともに最大100Mbpsとなります。
- 通信速度はベストエフォートであり、実効速度として保証するものではありません。インターネットご利用時の速度は、お客さまのご利用環境 (PCの処理能力、ハブルーターなどのご利用機器の機能・処理能力、LANケーブルの規格、集合住宅の場合は当該建物内の伝送方式、電波の影響等) 回線の混雑状況、ご利用時間帯によっては大幅に低下することがあります。

通信速度に関する注意事項を
お客さまが
気づきやすい場所に
注釈掲示

アクセス回線種別ごとの
最大通信速度

通信速度に関する注意点
(ベストエフォート型、
実効速度、変動要因等)

通信品質に関する仕様の説明

■ 個人向けOCN光 - 重要事項説明 (抜粋) -

OCN全般について

<通信速度について>

- 通信速度はベストエフォートです。お客さまのご利用環境 (PCの処理能力、ハブやルーターなどのご利用機器の機能・処理能力、LANケーブルの規格、集合住宅の場合は当該建物内の伝送方式、電波の影響など)、回線の混雑状況、ご利用時間帯によっては大幅に低下することがあります。

OCN 光について

<通信速度について>

弊社が提供するOCN 光の最大通信速度は以下の通りです。

- 東日本エリアのお客さま

OCN 光プラン	光サービスメニュー	最大通信速度*1	
		下り	上り
OCN 光 ファミリー OCN 光 ファミリー (ピック光)	1G*1	概ね1Gbps	概ね1Gbps
	200M*1	200Mbps	100Mbps
	100M	100Mbps	100Mbps
OCN 光 マンション OCN 光 マンション (ピック光)	1G*1*2	概ね1Gbps	概ね1Gbps
	200M*1*2	200Mbps	100Mbps
	100M	100Mbps	100Mbps
OCN 光 2段階定額ファミリー	100M	100Mbps	100Mbps

* 表記の速度は技術規格上の最大値であり、お客さま宅内での実行速度を示すものではありません。

*1 100Mbpsを超える通信速度でご利用いただくためには、1000BASE-Tのインターフェースに対応したPC、ルーターなどが必要です。また、PCなどお客さま機器と回線終端装置をカテゴリ5e以上のLANケーブルで接続する必要があります。

*2 光配線方式のみに対応しております。

通信速度に関する注意事項を
重要事項として
HPにて掲示

通信品質の確保に対する取組み

■ 自社における品質測定状況、 ネットワーク機器の PACKET ロス 監視等

- ・ お客さま収容装置における、セッション数やトラフィック量、
パケット廃棄量の測定／分析を実施しています

■ 収容設計

- ・ 上記の測定／分析状況や、将来の需要量(契約者数、トラフィック量等)を考慮し、
必要な設備量を算定しています
- ・ 構築のリードタイムを考慮した設備増強により、あらかじめ必要な設備を
確保しています

(参考) OCNで取得している品質データの例

構成員限り

(参考) サービス別の通信品質の確保例

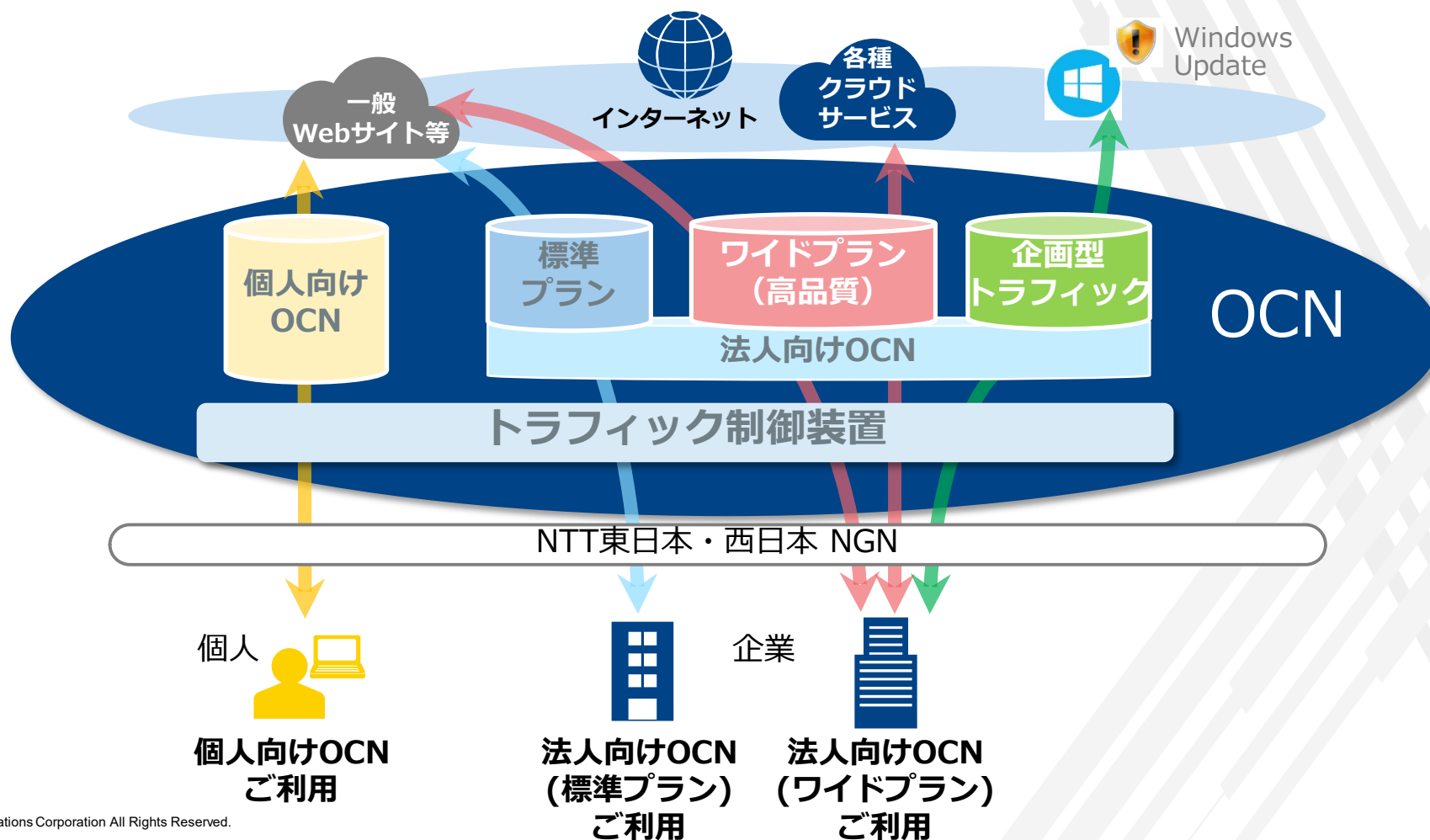
・トラフィック制御装置を活用し、サービス・メニュー毎の通信品質を確保

- 品質の異なるサービス間で、相互に影響を及ぼさない

(例) 個人向けOCNでの一時的なトラフィック増加(バースト等)の際、法人向けOCNには影響を及ぼさない

- 法人向けサービスの中でも、通信品質で差異化したメニューを提供

※標準プランとワイドプラン



測定項目・測定手法に対する意見・留意事項等

固定ブロードバンドサービスにおける品質測定の実施にあたっては、以下のような事項について、十分な議論が必要と考えております

■ 測定条件、手法等

- ①各ISPおよびユーザにとって、測定条件/手法が公平/中立であること。
- ②ユーザの宅内構成(Wi-Fi、有線LAN構成、機器性能等)に起因する測定結果への影響を回避できる測定手法であること。
- ③固定ブロードバンドでは、アクセス種別やメニューが多岐に渡る。そのため単純な「ISP単位」や「大きなサービス単位」での比較は誤解を与える可能性有。一方でそれら多岐に渡るケースの、網羅またはパターン化は課題。
- ④仮に一般ユーザが測定に関与する手法の場合、利用ISPやアクセス種別等の情報の正確性をどのように担保するかは課題。(自己申告制による信頼性低下)
- ⑤品質に影響を及ぼす設備区間は、ISP設備だけでなくアクセス設備もあること、また、測定の時間帯によっても変動することは考慮要。

■ 費用等

- ⑥仮にISPに何らかの費用負担(環境構築、運用、利用料等)が生じる場合でも、過度なものでないこと。またその際の各ISPの参加是非や負担方法も課題。

■ 情報開示

- ⑦品質測定結果について、正しい理解がなされるよう、ユーザへの適切な情報開示および啓もうが必要。



ご清聴ありがとうございました